

■ 教育実習をがんばっています。

本校は、城西中・西与賀小と同じく、佐賀大学教育学部の「代用附属校」です。毎年、教員志望の学生さんがすべての通常学級に入って、教育実習を行います。8/29の始業式後、佐賀大学の教育学部等から40名ほどの教員志望の学生が赴任しました。9月にかけての4週間(2週間程度の教生もいました)にわたり教育実習が行われています。ご家庭では子供たちがよく「教生先生がね...。」とご家族の方々に話しているのではないかと拝察します。各学級2~3名の教生(教育実習生の略です)が学んでいます。教育実習の見返りに、といっちは変ですが、本校の授業研究会には佐賀大学教育学部の先生方に入っていて、質の高い指導助言をいただいています。手前味噌ですが、毎年2月に研究発表会を開く際、佐賀県内外から数百名余の先生方が参観に来られるのは、この教育学部との連携が大きいと、私は思っています。教育学部の先生方との「共同研究」が、県内外の教職員の方々への授業の質の担保となっているようです。本校教職員は、「共同研究」で得た知見を通常の授業に生かし、本庄小の子供たちに還元しています。大学にとっても代用附属校にとってもウインウインの関係である、とも言えます。

保護者様にとっては、まだ免許状を持っていない学生の身分の教生が、我が子の授業に指導者として入ってくることに不安を感じられるかもしれません。しかし、ご心配はご無用です。「指導案」と呼ばれる授業プランは、教生が事前に大学の先生方と協議した上で、担任(または授業を行っている級外職員)に見せて指導を受けるように義務付けています。そして、教生の授業には、すべて担任(または授業を行っている級外職員)が入って、児童を伸ばす適切な授業であるか、目標・内容・方法・評価について適切か否か等を厳しく見守っています。つまり、学習が行われている教室には、必ず教員免許状を持った教生の指導役がおります。場合によっては、授業中であろうと流れをストップして望ましい方向に導きますし、放課後、課題があった部分を繰り返さぬよう適宜指導を入れていきます。

私が教育実習を「いいものだなあ。」と思うのは、児童にとって、教生はキャリア教育の格好のモデルだと思うからです。教員を目指す教生と言えど、全員がプロ顔負けの授業をするわけではありません。音楽が苦手な人も音楽の授業をしますし、運動が苦手な人も体育の授業をします。皆が話し上手なわけではありません。30人前後の児童の面前で話をするのに抵抗のある方もいますし、顔を真っ赤にして、緊張の面持ちで授業をする人もいます。でも、「教員になりたい」「教員免許状を取得したい」という夢=目標に向かって懸命に自分を鼓舞して高い壁を乗り越えようとします。その目標に向けて頑張る姿が、児童にとって大きなプラスになると思っています。学級に入ってきた、年齢の近い「お兄ちゃん」「お姉ちゃん」が、先生として頑張っている姿を目の当たりにするのです。児童にとっては、まさに数年後、十数年後の自分を見ている感じだろうと思います。

教育実習では、教育実習生がそんな貴重な姿を見せてくれます。厳しい現実には負けず、やるべきことを粛々とやり遂げようとしている、そんな姿に児童は「大人のたくましさ」や「夢見る者の強さ」を感じるに違いありません。かくいう私たち教職員は、彼らにかつての自分を重ねています。「初心忘るべからず」、青雲の志を抱いていたころの自分を思い出して、教師としてあるべき姿を問い直す絶好の機会となっているのです。現在、教職に就いている者は、全員、附属学校なり母校なりどこかの学校現場で実習を経験させてもらい、教員免許状を手に入れました。

夏休みが明けて、早速学校の気温が1~2度ほど上がる「熱気のある」教育実習が始まっています。熱中症の被害に遭わせぬよう気を配りながら、2学期、充実した学習と活動を展開していきます!



■ 熱中症対策の継続を。

先週末の雨は、ぐっと気温を下げてください、昔から言う「暑さ寒さも彼岸まで」を証明するかのようでした。とは言え、まだまだ油断はできません。保護者の皆様・ご家族の皆様にとっては、子供たちの登下校がご心配なことでしょう。報道によると他県の市町では、登下校の送迎バスを用意した、とか、学校に冷蔵庫を常備して、登校時に使用した首に巻くような「ひんやりグッズ」を日中冷やしておき、下校時に再び冷たくなった物を使用している、などの対策を耳にします。しかし、佐賀市のような53校もある大きな市では、そんなにお金のかかる対策は取れません。以下のような変わり映えのしない対策ですが、できる限りのことをして児童の安全を守りたいと思います。ご理解とご協力をお願いします。

① 低学年の学校留め置き

下校中に緊急搬送された他校の例を省みると、具合が悪くなった児童が1人で下校していた例が多いです。炎天下の中をふらふら歩いてきて、ようやく家に着いたが、そのまま病院へ、というパターンが多いのです。そこで、低学年児童を上級生の下校時刻まで学校に留め置いて、上級生が下級生を見守りながら下校させています。7月から引き続き、10月3日(金)まで行う予定です。下校中、遊んでいる下級生に「早く帰るよ!」と促したり、ふらふら歩いている下級生を「子ども110番の家」や最寄り店舗等に避難させ、そこから学校または自宅に連絡してもらったりする機転を期待しています。

② 標準服などを柔軟に

本校の標準服ですと、夏は化繊のカッターシャツやブラウスを着ることになりますが、保護者の方々からこれらは汗を吸いにくいし、肌触りがよくない、というご意見がありました。職員で協議し、児童には白主体であれば、綿のポロシャツやTシャツなど、風通しがよくて汗を吸いやすく、体に優しい素材のものを着てもよいことを伝えています。同じく、道具が重いと汗をかきやすい、という考えから、ランドセルが重く感じられるのであれば、リュックサックで登校してもOKだと伝えています。これら、綿の服を着せたい、リュックを許可してほしい、というご意見は、直接学校に寄せられた意見です。PTA 本部とも確認しながら、杓子定規に「規則は守ってもらわないと。」ではなく、「我が子の命を守りたい。」という親御さんの思いを重く受け止めて、ほとんどの暑さ対策は、柔軟に容認するつもりでいます。

※ ただし、ハンディファンについては、落とした時のバッテリーの引火の危険性や、紛失・盗難が相次ぐのでは?という危惧から、容認を見合わせています。

子供たちの登下校の様子を見ると、少数ではありますが、白いポロシャツで登校している子、リュックで登校している子、日傘を利用している子など、思い思いに熱中症対策の工夫をしているようです。多様性の時代、回りの人たちに配慮しながら、気温や天気などの状況に合わせて柔軟に対応できる考え方と適応力を育てたいものです。



■ <今後の主な行事> SC:スクール・カウンセラー来校日のこと金

- 9月22日(月) 全校⑤時間 9月23日(火) 祝 秋分の日
9月25日(木) ①教生辞任式、教育実習終了 9月26日(金) 4年生スケッチ会(午前)、全校④時間
9月28日(日) 町民体育大会(午前中開催)【地域行事】
9月29日(月) 運動会練習開始、⑥委員会活動
9月30日(火) 集団登校 10月1日(水) いじめ・命を考える日、全校の集い、前期通知表渡し
10月2日(木) SC(午後) 10月3日(金) ①運動会全体練習
10月6日(月) ①全体練習 10月7日(火) ①全体練習、1~4年⑤授業、⑥5・6年運動会係打合せ
10月8日(水) ①全体練習 10月9日(木) ①全体練習
10月10日(金) 集団登校、1~4年④授業、⑤⑥5・6年生運動会準備
10月12日(日) 運動会(8:30 開会、12:30 下校予定、
悪天候の場合は、水曜校事で全校③時間授業、給食なし、10/14(火)に延期)
10月13日(月) 祝 スポーツの日 10月14日(火) 振替休日、運動会雨天予備日
10月15日(水) 全校④時間、おにぎり弁当の日、運動会が14日の場合の振替休日
10月16日(木) おはなしの森(昼) 10月17日(金) 囲碁教室(昼)
10月19日(日) 佐賀市議会議員選挙 学校ホームページはこちら→

